

## 真実は！？



## パート②

# 今、八戸運輸区で何が起きているの？

2023年8月9日、八戸線435D列車が八戸駅発車場面で自動放送が流れず、13分遅発する事象が発生しました。運転士は車両活殺等の処置を行ったところ、放送の不具合は解消しましたが、この遅れによって上りの交換列車にも遅れが生じ、新幹線が不接続となる事象が発生しました。

**事象発生後に詳細がなかなか共有されず、訓練や職場の掲示内容が変更になり、職場からは不安や疑問の声が多く上がっています。このままでは原因究明を通じた安全を守る職場をつくる事が出来ません。**

職場の声

⑤

運転士の訓練初日から10日が経過した8月31日、訓練資料の内容が訂正された。「検修に確認した」が「当直が認識した」と訂正。また「後位置とればリセットになる」が「リセットにならない」と正反対の内容となった。

「調査した結果、内容を訂正しました。」と言っても内容が変わりすぎている。そもそも真実を伝えず、ごまかそうとした結果なのではないか？

職場の声

⑥

区報第6号が掲示されたけど、その内容は、「乗務員と当直の間に認識の相違があったことにより、関係者間の情報共有や確認に時間を要することとなりました。」  
「今後、このような認識の相違を発生させないためにも、…内容が正しく相手に伝わっているか、相手から伝えられた内容を正しく理解しようとしているか、などをこれまで以上に意識して取り組んでいきましょう。」  
と、私たちが聞いている内容とは全く違っており、原因究明がされていないからこそ、「しっかり確認していこう」では、対策になっていないのではないかと！

当初、当該社員は「おおごとにしなくていい。自山の石として留めておけ」と当直から言われた内容はどこにいったしまったのか。  
当直は取り扱い誤りを理解していたにも関わらず、認識の相違があったと、内容をすり替えているのではないかと？  
認識の相違があったのであれば、どのように認識し、どのように判断したのかを明らかにしなければ、原因究明は出来ない！  
事象の真実が本当に伝えられているのか、まだまだ多くの疑問が残る…。

**これでは職場で真実は語られず、  
本当の対策は出来ず、安全が守られない！**